

施策評価表

平成28年度分

①	施策コード	1・2・2	評価担当課	学校教育課	総合戦略	行政経営	過疎
②	施策名	心豊かに学べる教育内容の充実			○		
③	目標	全国学力・学習状況調査結果の向上 小学校や中学校の施設の整備・充実に満足している町民の割合					
④	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本町の出生数は年間100人前後で推移していますが、子どもを取り巻く環境は複雑多様化しています。児童・生徒一人ひとりの基礎学力の向上に努めるとともに、個性を尊重し、適応力のあるたくましい心を育てる人間教育が強く求められています。 ◆ 児童数の減少にともない、一部地域の小学校では地域全体で学校のあり方について検討を進めていく必要があります。 ◆ 家庭・学校・地域が密接に連携をとりながら、様々な社会経験やゆとりある家庭生活を通じて、豊かな人間形成に努めるとともに、「郷土愛」を育んでいくことが求められています。 	施策の内容	児童・生徒が丸森町内の自然や文化、先人の業績や人々について理解し、夢や希望をもって心豊かに学べるよう、地域の教育資源や教育力を生かした「ふるさと教育」を推進します。			

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
放課後学習支援実施学校の割合	%	25.0	33.3	33.3	33.3	100.0			
			33.3	33.3					
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
放課後学習支援実施学校の割合	%	25.0	33.3	33.3	33.3	100.0			
			33.3	33.3					

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	27年度	28年度	29年度(計画)	30年度(計画)	31年度(計画)
		31,039	32,764	37,962	37,203	41,251

1年間の取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	<p>教育相談員や平成28年度からスクールソーシャルワーカーを配置し、学校のいじめ・不登校問題等の相談に対応した。</p> <p>ALT、教員補助者、学校司書を配置し、学校における児童生徒の学習環境の向上を図った。</p> <p>学び支援コーディネーター等配置事業では、丸森子ども学び塾や夏期学習会、小学校3校での放課後学習支援を行い、自ら学習する習慣が身についた児童生徒が増えた。</p> <p>幼保小中連携懇話会を3回実施し、関係機関同士での情報共有を図った。</p> <p>児童生徒の統一学力調査を行い、その結果を学力向上対策に活用した。</p> <p>その他、体験学習事業や校内各種大会報償事業、各種表彰、文化・スポーツ活動推進事業等を実施し、児童生徒の健全な成長に努めた。</p>	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	<p>【◎】おおむね順調</p> <p>【○】いっそうの推進が必要</p> <p>【△】抜本的に見直しや改善が必要</p>

今後の取組

⑩	今後の取組	<p>基本的に現在の各種事業を継続し、児童生徒の教育の充実を図る。</p> <p>教育相談員やALT、学校司書など人的配置を要する事業は、現在の人数を基本とするが、教員補助者については、特別な配慮を要する児童生徒が増えてきていることから、各学校と調整し必要な人数を確保する。</p> <p>統一学力調査も引き続き実施し、学力や学習状況等を分析し、学習指導の改善を図り一層の学力向上に努める。</p> <p>学び支援コーディネーター等配置事業は、国・県の事業継続状況を勘案しながら進める。</p>
---	-------	---

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 現在の事業を継続するものとする。学力向上研究指定校事業は、平成27年度で指定期間が終了したが、計画期間中に再度指定された場合には事業を行うものとする。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 引き続き、教育内容の充実とともに、家庭・地域・学校が連携して、郷土愛を育むための教育を推進すること。